

【在日問題・思想・死生観】

# 生と死

## ある「在日」の断想

尹 健次[著]

四六判 264頁 本体 2000円(税別)

在日2世の歴史・思想史家が  
最後に遺す想い

【目次】より

I 死に向きあう

- 一 死についての想い
- 二 死生観のいろいろ
- 三 在日朝鮮人文学から
- 四 習俗・祭祀・祖霊信仰
- 五 死刑囚、そして自死
- 六 絶望から希望へ

II 漂泊を生きる

- 一 漂泊とは
- 二 放哉と山頭火
- 三 孤独・寂しさ、そして酒
- 四 漂泊・放浪・遍路
- 五 金サッカについて
- 六 死を生きる——挽歌

III 四苦八苦をどう乗り超えるか

- 一 高齢化という時代の波
- 二 古典を読む
- 三 トルストイの『懺悔』
- 四 ハンナ・アーレント「孤独と寂しさは違う  
……etc



【著者紹介】

尹 健次 (ユン・コオンチャ)

1944年、京都市生まれ。  
神奈川大学名誉教授。『在日総合誌 抗路』編集委員、  
近代日朝関係史、思想史専攻。

主な著書に、  
『孤絶の歴史意識』『現代韓国の思想』『思想体験の交錯』  
『「在日」の精神史 全3巻』(以上、岩波書店)、  
『尹健次詩集 冬の森』(影書房)、などがある。

図書出版クレイン 〒180-0004 武蔵野市吉祥寺本町1-32-9 <http://www.cranebok.net>

冊	TEL 0422-28-7780 FAX 0422-7781	クレイン	書店名	ご注文書
	生と死 ある「在日」の断想 (本体2000円+税)			